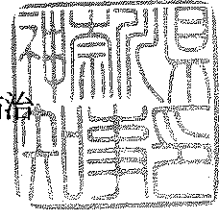


水第 1802 号
令和 4 年 11 月 24 日

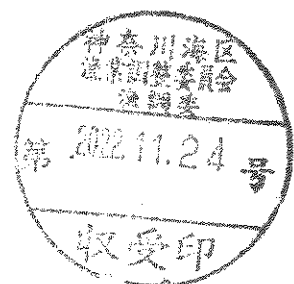
神奈川県漁業調整委員会会長 櫻本和美 様

神奈川県知事 黒岩祐治



まあじ及びまいわし太平洋系群に関する令和5管理年度における知事管理漁獲可能量
について (諮問)

このことについて、漁業法第16条第1項の規定により知事管理漁獲可能量を別紙のとおり定
めたいので、同条第2項の規定により貴委員会の意見を求めます。



まあじ及びまいわし太平洋系群に関する令和5管理年度（令和5年1月1日から令和5年12月31日までの期間をいう。）における漁業法第16条第1項に掲げる知事管理漁獲可能量を次のとおり定めたので、同条第4項の規定に基づき公表する。

令和5年1月1日

神奈川県知事 黒岩祐治

第一 まあじ

1 都道府県別漁獲可能量について本県に定められた数量

現行水準

2 知事管理区分に配分する数量

知事管理区分	配分する数量
神奈川県まあじ漁業	現行水準

第二 まいわし

1 都道府県別漁獲可能量について本県に定められた数量

現行水準

2 知事管理区分に配分する数量

知事管理区分	配分する数量
神奈川県まいわし漁業	現行水準

4水管第2739号
令和4年11月22日

神奈川県知事 殿

農林水産大臣 野村 哲郎

さんま、まあじ、まいわし太平洋系群及びまいわし対馬暖流系群に関する令和5管理年度における都道府県別漁獲可能量の当初配分の通知

さんま、まあじ、まいわし太平洋系群及びまいわし対馬暖流系群に関する令和5管理年度における都道府県別漁獲可能量の当初配分について、漁業法(昭和24年法律第267号)第15条第1項の規定に基づき、下記の表のとおり都道府県別漁獲可能量を定めたので、同条第4項の規定に基づき、通知いたします。

記

さんま、まあじ、まいわし太平洋系群及びまいわし対馬暖流系群に関する令和5管理年度における都道府県別漁獲可能量の当初配分

特定水産資源	定めようとしている都道府県別漁獲可能量(トン)	基本シェア(%)	現行水準の場合の目安数量(トン)
さんま		0.00%	
まあじ	現行水準	0.51%	622
まいわし太平洋系群	現行水準	0.29%	2,273
まいわし対馬暖流系群			

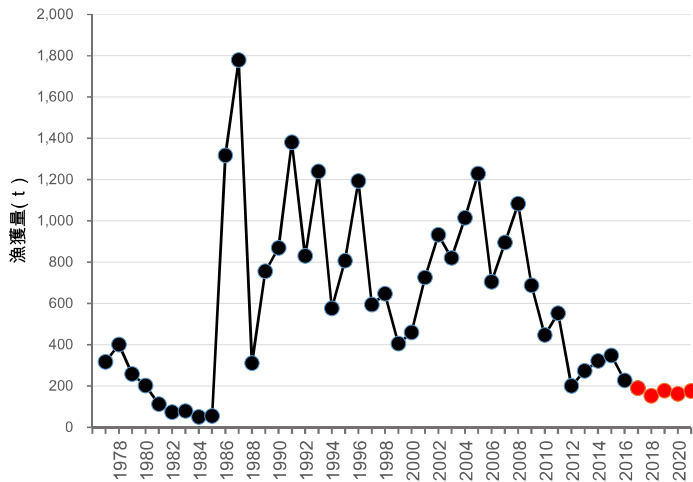
(注記) 基本シェアの算定期間(平成29年から令和元年)の漁獲実績が1トン未満の場合は、配分の対象としない



マアジ

令和3年12月

資源の動向 「低位・減少」

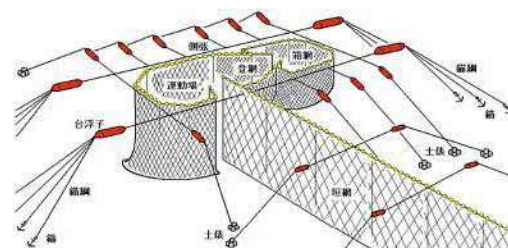


相模湾のマアジ漁獲量は2016年から200トン前後で推移している。漁獲量の少なさは、マアジ太平洋系群の資源量が減少傾向にあるため、東シナ海から回遊するマアジの減少に起因すると考えられる。相模湾での直近5年の傾向は「低位・減少」である。

対象漁業

○定置網

定置網の構造と各部の名称



生物学的特性



○分布: 日本の沿岸全域

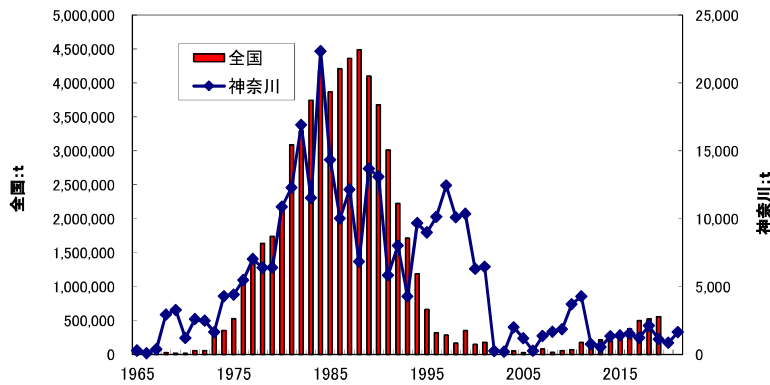
○移動: 東シナ海でふ化したマアジは本州沿岸域に北上し、産卵期には東シナ海近辺の大陸棚まで南下し、産卵後は索餌のため再び北上回遊するとされている。一方、地付きのマアジは地先付近で再生産していると考えられており長距離の回遊は行わない。

○成長・産卵期: 相模湾で漁獲されるマアジは1年で尾叉長18cm前後、2年で尾叉長21cm前後に成長し、本格的な繁殖への加入は雄は1歳、雌は2歳以上。東シナ海での主産卵期は2月~4月、相模湾近海では5月~6月に最も生殖腺が発達する。

マイワシ

令和3年12月

資源の動向 「低位・横ばい」



マイワシの漁獲量(農林水産統計値等)

マイワシ太平洋系群の資源量は近年増加傾向にあるが、本県の漁獲量は当歳魚主体で1,000トン程度で推移しており、系群全体ほどの伸びは見られない。

2021年は、特に夏季以降の漁獲が低調であった。

対象漁業

- 定置網漁業
- まき網漁業



生物学的特性

- 分布: 日本列島周辺
- 移動: 春に四国沖～関東近海

各地で産卵し、夏～秋には三陸～道東沖まで餌を求めて回遊

- 成長: 2歳で体長15cm前後
- 産卵期: 11～6月(盛期は2～4月)

